

# 講演会「放射線の人体への影響について」

日時：2012年1月20日（金）14:20-15:50（4講時）

場所：茨城大学日立キャンパス、E1棟10番教室

対象：本学学生、教職員、市民 参加費：無料

開催主旨：日立地区の放射線測定結果を知り、併せて放射線の人体への影響について学ぶことで、学生・教職員・市民の放射線に関する意識向上を目指します。

## スケジュール

1. 開催の主旨説明（5分）
2. 茨城大学日立キャンパスの放射線測定報告（30分）

講師：武田 誠（工学部技術部 総括技術長）

金澤 浩明（工学部技術部 専門職員）

水素爆発による原子炉からの飛散物質が拡散しています。工学部では、屋上に空気捕集装置を設置し、放射性物質を含む微粒子の捕獲に努めました。同時にキャンパス内の空間線量計測を開始しました。

3. 放射線の人体に対する影響（45分）

講師：新村信雄（フロンティア応用原子科学研究センター 特任教授）

もし、環境放射線レベルがゼロの場所があったら、あなたはそこに住みたいですか？放射性Csのお米の暫定基準値は500 Bq/kgです。499 Bq/kgであったら許可されるのでしょうか。納得いきますか？等々。このような疑問を疑問と思い、何故疑問なのかを考えてみませんか。

4. 質疑応答（10分）

主催：茨城大学「日立地区住民への判り易い放射線教育と日立地区での放射線空間線量率の測定」グループ

協賛：茨城大学工学部  
連絡先：三枝，Tel:0294-38-5104

日立地区(工学部)配置図

